



酒井雄二(歌手・ゴスペララーズ)

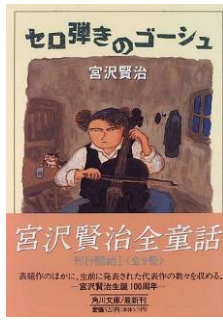
さかい ゆうじ

■ 刈谷市出身

★ 「ゴスペララーズ」のメンバーとして一九九四年メジャー・デビュー。

★ 卓越した歌唱力で、「永遠に」「ひとり」「星屑の街」「ミモザ」等、多数のヒット曲を送り出す。NHK紅白歌合戦には二〇〇一年から六年連続出場。

わたしの一冊



▼書名 セロ弾きのゴージュ

▼著者 宮沢賢治

▼出版社 角川書店

セロ弾きのゴージュ

本の紹介

まさか自分がゴージュそっくりな大人になるとは、思ってもみなかつたよ。小さい頃から歌うことが好きで歌手になった僕だけれど、プロの世界に入ってからやっぱり力不足を思い知ったんだ。思うようにハーモニーが出来ない、歌えない。自分でもそれが分かっているから、だれかにズバリ指摘されるとカッとなった。

どうすればもつといい歌を歌える？ それを教えてくれる人はいない。それでも頑張つて続けていたら、ある日ふいに、びっくりするほどの拍手をお客さんがくれた。

何かが上達するって、みんないつの間にかのことなのかもしれないね。

小中学生のみなさんへ

いま僕は、ゴスペララーズのメンバーとして全国を旅しながら、いろんな街で歌っています。こうなったのは、僕が大学生の頃から仲間と歌っていたからです。そしてそれは高校生の頃にみんなの前で拍手をもらったのや、中学生の頃に修学旅行で歌ってほめられたのが嬉しかったからでしょう。もつと言えば、そもそも小学校のクラブ活動で吹奏楽を選んだ時からこんな感じでした。

どうですか？ そう考えたら、みなさんが今頑張っていることや、好きなこと、夢中になっていることが、ずっと遠い未来の自分につながっていると、思えてきたでしょう。どんどん進めばいいんです。人は誰でも、急に完成品の大人になるのではありませんから。





坂梨一郎(元東山植物園長)

さかなしいちろう

- 日進市在住
- ★ 元名古屋市東山植物園長
- ★ 英国王立園芸協会日本支部顧問
- ★ 日本植物園協会名誉会員
- ★ 日本ハンギングバスケット協会名誉会長

わたしの一冊



▼書名 萬葉の花
▼著者 松田修
▼出版社 芸艸堂

(注)本書は絶版となっております。

本の紹介

万葉の散歩道

小中学生のみなさんへ

紹介する本は、昭和三十二年出版の文庫本タイプの古い本です。昭和五年生まれの私は、教育を受ける時代が一貫して戦争中であって、十分な教育が受けられなかった不幸な世代育ちです。だから、学校では万葉集など一時間も学ぶことが出来ませんでした。

幼少の頃から花が好きで、社会人となって名古屋市東山植物園に勤務することができたことは、本当に幸せなことでした。

私は、植物のなかでも特に熱帯植物に大変興味があり、植物園でも温室を

担当しました。その後、観葉植物に関する本なども三冊ばかり出版する機会がありました。

ところが、園長になり、仕事の内容がすっかり変わってしまいました。ただ植物のことだけを考えていればよいのではなく、植物園をより魅力あるものにするのでした。いま東山植物園の人氣施設のひとつに「万葉の散歩道」があります。この散歩道の誕生につながったのは、この「万葉の花」という本です。万葉植物解説の第一人者、松田修氏の著であるこの本を何回も読み、それがヒントとなって「万葉の散歩道」をつくることができました。今も大変な人気ですが、この本を知らなかったら、植物園の万葉コースは出来ていなかったと言えます。みなさんにも忘れられない一冊の本との出会いがあることを願っています。



その他の紹介図書

◆「園芸植物大事典」(塚本洋太郎/総監修) 小学館



沢 朋宏 (CBCアナウンサー)

- 西尾市出身、名古屋市在住
- ★ CBC中部日本放送にアナウンサーとして入社 (H8)。8。気象予報士試験に合格 (H16)
- ★ 「そらナビ」「こいイチ」など、アナウンサー、気象予報士として様々な番組に出演。朗読プロジェクト「こぼのたまてばこ」のプロデューサーも務める。

わたしの一冊



- ▼ 書名 山のむこうは青い海だった
- ▼ 著者 今江祥智 / 作 長新太 / 絵
- ▼ 出版社 理論社

本を紹介

これは、男の子・女の子が繰り広げる、夏休みの冒険物語です。主人公の次郎くんは、中学一年生。夏休みに、「男の子」から一人前の「オトコ」になろうと、お母さんの故郷である山間の街に一人旅に出ます。そこで、いろんな友達を作り、都会じゃ出来ない自然の遊びを覚え、さらには幼なじみの女の子との間にちよつと恋が芽生えたり、最後にはみんなで協力しての大捕り物まで！

すべてが、夏らしいキラキラとした日差しの下で展開していきます。読めば読むほど、夏休みが待ち遠しくなってきました。せっかくの夏休みをダラダラと過ごすのはもったいない！ ボクもナニかやってみようかな……？ という気持ちになること、間違いなしでしょう。

小中学生のみなさんへ

夏が来る前に、ぜひ一度、読んでみてください。

大人でも子供でも、一番大切なものは、「約束を守る」ことと「友を信じる」ことだと思えます。ボクが紹介した本はどれも、この二つのことをどこまでも大事にする人たちが登場します。

決して「人を裏切らない」から、皆が協力してくれる。そして、一人じゃ出来ないことでも、簡単に出来るようになる……。親や先生から何度も説教されるこんなコトも、物語を読むことを通して学べば、心の中にスツとしみこんでいきます。それが、本の力です。

本は、いろんなことを教えてくれるセンセイのようなものです。皆さんぜひ、小説でも童話でも、雑誌でも……いろんな本を手にして、たくさんのことを学んでください。

その他の紹介図書

- ◆ 「ぼくらの七日間戦争」(宗田理) 角川書店
- ◆ 「天国までの百マイル」(浅田次郎) 朝日新聞社



しみずよしのり 清水義範（小説家）

■ 名古屋市出身

- ★ 一九八一年「昭和御前試合」で文壇デビュー。「蕎麦ときしめん」でパステイ・シユ（様式模倣）の分野を開拓し注目を浴びる。「国語入試問題必勝法」で第九回吉川英治文学新人賞受賞。
- ★ 中日新聞に「川のある街―伊勢湾台風物語―」連載。

わたしの一冊

▼ 題名 ファーブル昆虫記

▼ 著者 J・H・ファーブル／著

奥本大三郎／訳

▼ 出版社 集英社

※ 集英社版では、現在「完訳 ファーブル昆虫記」（全二十冊）が刊行中。文庫化もされている。

※ 集英社以外の出版社からも多数刊行されている。



本の紹介

生涯かけて昆虫を観察して、とても不思議で、おもしろいことを書きのこしてくれたのが、博物学者のファーブル先生だ。たとえば、スカラベ（ふんころがし）は、どうしてふんの玉をころがすのか、とか、セミの歌にはどんなひみつがあるのか、など、びつくりするようなことを教えてくれる。そしてファーブル先生は、自然はものすごく豊かで、力強いと伝えてくれる。

その自然を、どのように観察するのがいいのか、どのように考えていけば、なぜがとけるのか、と導いていくれるので、この本を読むとそれだけで科学的な考え方が身につくのだ。とても楽しくて、引きつけられてすらすら読めるのだが、読むだけでいつしか頭がよくなっている、という素晴らしい本

なのだ。

小中学生のみなさんへ

本を読めば豊かに生きられる

おかしなことを言うと思うかもしれないけれど、本を読まないのは、ものすごくもったいないことなんだ。なぜなら、本を読むとものごとを考える力がつき、自分以外の人間は何を考えているんだろう、と想像できる力がつき、人生がとて豊かになるんだから。本を読まない人の人生がモノクロ画像としたら、それがいきなりカラーになる。本を読むのはそれぐらいすごいことなんだ。

小説を読むのもいいが、伝記や探検記や科学読み物もいい。歴史のことや、料理の作り方まで、本で学ぶことができる。なんでもいいから読んでみれば、その人の生活がかがやいてくるんだよ。

その他の紹介図書

- ◆ 「坊っちゃん」（夏目漱石）新潮社
- ◆ 「ガリバー旅行記」（ジョナサン・スウィフト）著 加藤光也／訳 講談社



ジョン ギャスライト

(タレント/コラムニスト)

- アメリカ出身 瀬戸市在住 南山大学卒、名古屋大学大学院生命農学研究科博士課程修了
- ★ ツリークライミングジャパン代表。
- ★ 中部大学教授、中京女子大学客員教授、中日文化センター講師などのほか多数の審議会、協議会等の委員を務め、幅広い活動に取り組む。

わたしの一冊



▼書名 木

▼著者 佐藤忠良/画 木島始/文

▼出版社 福音館書店

本の紹介

僕にとって、木は一緒にいる友だちでもあり、人生を教えてくれる先生でもあり、そして心を癒すお医者さんにもなる。この本は、木の姿を見ながら生きていくための知恵や自然界の秩序を教えてくれる。身近な木をじっくり見ていると自分の生きていく時に役にたつメッセージをくれるんだ。よく見て聞いてごらんと、僕たちに木に触れあったり森へ行くきっかけをつくってくれたりするんだ。是非この本を読んで森に足を運んでください。

小中学生のみなさんへ

僕が小学生の時でした。学校でいじめられた僕は泣きながら、いじめっ子から逃げるように走って家に帰ってきました。おじいちゃんがそんな僕を見

て、「そんな時は木に登ってみよう！」と言って、僕の手を引いて丘の上に立っている大きな木に登ったのです。

僕は、その日を一生忘れられません。アメリカからカナダに引っ越し、転校生として入った小学校で、英語がなまっていたりとか、髪型がおかしいとか、とても些細なことだったけれど、みんなにいじめられました。その時の僕は自信がなかったもので、とても傷つき悲しい思いをしました。

「ゆっくり向こうを見てごらん……」木に登って恐る恐る後ろを振り返ってみると、大きな世界が目映りました。太平洋の青い海、山、そして行きたくない学校。でも小学校は町のちっぽけな建物の一つでした。それを見ておじいちゃんが、「ジョン、問題にぶつかっただけはこうして視点を考えてその問題を見ろ」といい。今まで大きくて押しつぶされそうな問題も、視点を考えてみると小さいことに気づくことがたくさんあるんだ。」と言いました。それから僕は問題があると、いろんな視点で見て考えて、問題の乗り越え上手になってきました。みんなも悩みがあったら視点を考えてその問題を乗り越えて、心の痛みがわかる大きな心のやさしい人になってください。

その他の紹介図書

◆「おおきな きがほしい」(佐藤忠良) 偕成社

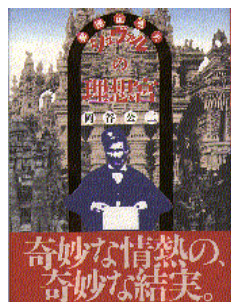


竹内正実（テルミン奏者）

たけうちまさみ

- 小坂井町に二十五年以上居住。（現在、浜松市在住）
- ★ 有限会社マンダリンエレクトロン代表取締役。
- ★ テルミン奏者として演奏活動をするほか、演奏教室などテルミンの普及に努める。日本オーデイオ協会が選定する「音の匠」に選ばれる（H13）。

わたしの一冊



▼書名 郵便配達夫シュヴァールの理想宮

▼著者 岡谷公二

▼出版社 作品社

本の紹介

今からおよそ百年前、フランスの片田舎オートリヴで、とてつもなく巨大で誰もみたことのない不思議な形をした宮殿が完成しました。造ったのは郵便配達夫シュヴァール。建築家でも芸術家でもない彼は、自分の内にある情熱と創意にだけ従い、誰の助けも借りず、三十三年間孤独に石を積み上げ続けました。それを創ったのが芸術の都パリでならともかく、辺境の地オートリヴでしたから、村人はシュヴァールの自由な芸術を理解できるはずもなく、ただ変人視されるばかりでした。逆風にもめげず、自分の信ずるところを諦めなかつた強い信念と、誰の何を手本とするでもなく、ただ自分の内にあるイメージにだけ従い創造した素直さがシュヴァールにはあり

ました。それらが大切だということは頭では分かっているつもりですが、やり遂げたシュヴァールは本当にすごい人だと思うのです。私も「芸術」を仕事にしていますが、何か迷いが心に生じたとき、いつもシュヴァールのことを思い出すようにしています。

小中学生のみなさんへ

何かをやりたい、何かを創りたいと思ったならば、皆さんはとても恵まれた環境にいることを忘れないでください。少し前に生まれたならば戦争があり、少し違うところに生まれたならば自由に生きることなど許されないからです。小中学生は辛いことも多くたいへんでしょうが、そんな受難は長く続きません。自由で生きる時代に生まれたならば、その幸運をいっぱい享受し、やってみませんか？



《テルミンとは》
テルミンは一九二〇年、ロシアの天才物理学者にしてチェロの名手だったレフ・セルゲイヴィッチ・テルミンによって発明、一九二二年に発表された世界最古の電子楽器。楽器に直接触れることなく、空間にかざした手の動きによって演奏する。



たけしたけいこ 竹下景子(女優)

■ 名古屋出身

★ 東京女子大学文学部社会学科卒業。

★ 映画「男はつらいよ」のマドンナ役を三度務め、「学校」では第十七回日本アカデミー賞優秀助演女優賞を受賞。二〇〇七年、舞台「朝焼けのマンハッタン」「海と日傘」にて、第四十二回紀伊国屋演劇賞個人賞を受賞。テレビ、映画、舞台への出演のほか、社会活動にも貢献。

わたしの一冊



▼ 書名 完訳 ファーブル昆虫記

▼ 著者 J・H・ファーブル/作

奥本大三郎/訳

▼ 出版社 集英社

※ ここに紹介した本は、現在刊行中の「完訳 ファーブル昆虫記」(全二十冊)。文庫本も出版されている。
※ 集英社以外の出版社からも多数刊行されている。

本の紹介

「クモって好き？」と聞かれて、「ハイ」と答える人はまずいないと思います。はじめは私も全然好きじゃありませんでした。

でも、「ファーブル昆虫記」のクモの話を読んではすっぴん変わりました。クモだって一生けん命生きてるんだ、えらいエライと応援したくなつたのです。

中でも子グモの旅立ちの話は美しく、今も心に残っています。何か月もお母さんグモの背中にしがみついていた子グモ達は、ある晴れた日、自分が出した糸に乗り、たったひとり旅に出るのです。光と風を味方にして。

私には小さな子グモ達が日の光の中でキラキラと光りながら、まるでタン

ポポの綿毛のように、次々と空に舞っていくのが見えるようでした。本当に感動したのです。そして、科学者の目で愛情豊かに観察し続けたファーブル先生を心から偉いと思いました。

小中学生のみなさんへ

夢を持つたら

小さい頃は、「もやしっ子」で体育は「1、2、1、2」。大の苦手でした。お母さんが「ゼンソクが出るから走っちゃダメ。」って言ったんです。だから一人で本を読んでいた。

本は今まで知らなかった世界へと私を連れて行ってくれる。想像や空想がふくらんで読書が何より好きになりました。中でも物語に夢中になって、中学からは演劇部。それがきっかけで今日まで女優の仕事が続いています。体はすっかり健康になりました。弱虫だった私に本が夢を与えてくれました。夢中になれること、絶対見つけてくださいね。

その他の紹介図書

◆ 「よだかの星」(宮沢賢治) 新潮社

◆ 「二十一世紀に生きる君たちへ」(司馬遼太郎) 世界文化社



つげ えみ 柘植恵水 (NHKアナウンサー)

- 三好町出身
- ★ 南山大学卒業後入局。現在、東京アナウンス室所属。
- ★ 「きょうの料理プラス」(月々木9時30分〜)、「趣味の園芸プラス」(金9時30分〜)の司会を担当。

わたしの一冊



- ▼書名 西の魔女が死んだ
- ▼著者 梨木香歩
- ▼出版社 新潮社

本の紹介

友人との関係が上手くいかず、学校に行けなくなった中学生のまいは、田舎に住むおばあちゃんと暮らすことになります。イギリス人のおばあちゃんは「食」や「生活」をととても大事にし、まいは生命力を回復していきます……。

私達はあまりにも多くの情報に囲まれ、本来の「人らしく生きる」ことを見失っているかもしれない。そして頑張りすぎる必要もないのです。悩むまいにおばあちゃんは言います。「自分が楽に生きられる場所を求めたからと言って後ろめたく思う必要はありませんよ。サボテンは水の中に生える必要はないし、(略)シロクマがハワイより北極で生きるほうを選んだか

小中学生のみなさんへ

らとって、誰がシロクマを責めますか。」生きることが楽しくなる一冊です。

私が小・中学生の頃に住んでいた家は、裏に山がありました。小学生の頃は学校から帰るとその山で秘密基地を作ったり、虫やカエルを捕まえたりして遊びました。中学の時は下校途中に友達と色々な話をしながら山道を帰ってきました。大人になった今、あの当時の日々を思い出すと温かい気持ちになり、幸せを感じます。皆さんが今過ごしている一日一日は、将来の皆さんの財産であり宝物になるのです。もちろん、今の環境が好きになれない……という人もいます。世界は広い！ まだあなたが出会っていない人や、見たこともない世界はたくさんあります。本を読むことで、それに出会うことも出来ます。楽しい時もつらい時も一日一日を大切に、たくさん宝物を見つけてくださいね。

その他の紹介図書

- ◆ 「夕風の街 桜の国」(二つの史代) 双葉社
- ◆ 「アルケミスト―夢を旅した少年―」(パウロ・コエーリョ) 角川書店



てら おさむ

寺尾悟（スピードスケート選手）

- 豊田市足助町出身 トヨタ自動車株式会社勤務
- ★ ショートトラック全日本選手権十二度の総合優勝（現在五連覇中）。冬季五輪四大大会連続出場中。
- ★ リレハンメル千米メートル第4位、ソルトレーク五百メートル第5位、トリノ五百メートル第6位、世界選手権千米メートル優勝、総合第2位。

わたしの一冊



- ▼ 書名 家族のたからもの ―夫・カンニング中島が遺した最期の日記―
- ▼ 著者 中島真奈美
- ▼ 出版社 日本テレビ放送網株式会社

本の紹介

皆さん、お父さん、お母さんの言う事はしっかり聞いていますか？ 昨日何をしましたか覚えていますか？

お父さんはいつも皆のために、朝から夜まで働いてくれます。お母さんは皆が元気で健康に育ってほしいと、いつも美味しい料理をたくさん作ってくれます。

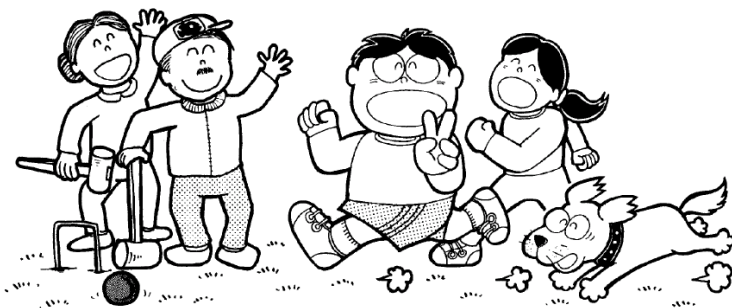
家族はかけがえのない宝物。今もう一度、家族について考え、今まで以上に大切にしてください。

お父さんやお母さんは、どんな状況でも自分の子供を愛しています。この本を読んで、家族の存在がもっともっと大きくなってくれればと思います。

小中学生のみなさんへ

自分が四回もオリンピックに出場できたのは、間違いなく家族の支えがいちばん大きかったと思います。小さいころは、両親に対して試合を見に来ないで！ と、怒ったこともありましたが。それでも、いつも僕のスケートを応援してくれました。

今、目指す目標がありますか？ 何かに熱中できていますか？ 大人になつてからはできないこともたくさんあると思います。生命を大切に、今という「この時間」を大切にしてください。





照喜名一男(名古屋音楽大学教授)

- 海部郡美和町在住
- ★ 立命館大学法学部卒業 (S39)。名古屋音楽短期大学 (現名古屋音楽大学) 器楽科卒業。(S42)
- ★ 海部交響楽団を創設し代表、指揮を務める。「愛・地球博」で美和町を題材にしたミュージカル「美和・阿波おどりの輪」を指揮。数多くの演奏会に出演し活躍。

わたしの一冊



- ▼ 書名 セロひきのゴーシュ (宮沢賢治童話全集8)
- ▼ 著者 宮沢賢治 / 作 太田大八 / 絵 岩崎書店
- ▼ 出版社 岩崎書店

本の紹介

小中学生のみなさんへ

私は音楽大学でチェロ(セロ)をひいたり教えたりしています。作曲家、清水脩が宮沢賢治の「セロひきのゴーシュ」をもとに歌劇を作曲しました。私はこの歌劇の中でゴーシュに代わって独奏のチェロをしばしば演奏したことがあります。劇中ゴーシュの最後の言葉「ああ、かつこう。あの時はすまなかつたなあ。おれはおこったんじゃないなかつたんだ。」と語りふで幕がおります。このせりふに、ある日、私は「あつ！ そうなんだ、宮沢賢治が言いたかったのはこういうことなのか！」と年を経て読み返した時に気がつきました。

ゴーシュは金星交響楽団でチェロをひいています。大変下手で楽長から

いつも叱られていました。ゴーシュは練習が終わってから自宅に戻り、死にもぐるいで毎日夜どおし練習にはげみました。……音楽会は大成功のうちになり、努力の結果、ゴーシュは大変上手くなり、音楽会でアンコールに独奏を頼まれるほどまでになりました。宮沢賢治は努力の大切さを教えています。しかし、更に努力した人は、温かくて優しく心豊かな人間に成長するようすを描きたかったのだと思います。

みなさん！ この本からゴーシュが、ただ下手だった時、ねこやかかつこうにひどい仕打ちをしていましたが、努力をするにつれて野ねずみの親子にパンをあげたり、かつこうにあやまるなど、温かく優しい豊かな人間に変わって行くゴーシュの姿を、読み取っていただければと思います。

その他の紹介図書

- ◆ 「夕鶴」(木下順二) 岩波書店

